



イヴェス・ガンドラ・マルチンス

日本文化との接点は学友

渡辺マリオから母の話聞く

有名法律家のイヴェス・ガンドラ・マルチンスさんに日本文化との最初の接点を問うと「大学時代の親友が日系人だったから」と答えた。名を聞くと「渡辺マリオ」(故人)、日系社会では「日本移民の聖母」とも呼ばれる渡辺トミ・マルガリーダ(1900-1996、鹿児島県の子孫)だった。



老人ホーム「憩の園」での渡辺マルガリーダ

学生時代、マルチンスさんと渡辺マリオさんはそれぞれ恋人を連れて、カップル二組で週末によく遊びに行った。そんな時、マリオさんから母親の救済事業のことを部分的に聞かされていた。公の場での日本語の

伯国は対枢軸国経済

をだし、なんの罪もない

断交、国交断絶を決議した。ドイツはその直後、米国の補給路を断つために大西洋上のブラジル艦船を次々に潜水艦攻撃で沈めた。この被害補償のために、ブラジル政府は同年2月、枢軸国側移民や企業の資産凍結令を出し、なんの罪もない

だ。本来なら集会すら不可能だった時代に、迫害を受けていた日本移民への深い理解をもったドン・ジョゼ・ガスパール・デ・アフォンセッカ大司教の助力により、1943年7月、セントス沖で起きたドイツ潜水艦攻撃を受け、枢軸国側移民サンクトス強引退去令が出された。1967年11月末までの25年間に、なんと延べ人数で6万1403人を救済したと「救済会の沿革とその事業」(1968年)にはある。

途中、同会は1953年5月に正式な慈善団体に改組し、ボ語名称に同大司教名をつけた。サンパウロ日伯援護協会や姉妹団体ともいえる各福祉団体が徐々に誕生する中で、その事業を高齢者福祉に絞り、移民50周年(1958年)の機に「憩の園」を設立した。

カトリック教の総本山バチカンが「聖者」と認定するための列聖申請には、大変な手間と時間がかかるといわれる。渡辺マルガリーダが創立した救済会は、困難な立場の日本移民を助け続けて72年目を迎えた。移民の苦難に寄り添いながら、手を差し伸べて来た福祉団体の先駆けだ。この列聖申請が認められたら、日本移民史がブラジル近代史にしっかりと組み込まれ、バチカンがそれを認定したことになるといえる。

伯国近代史の一部

「ドナ・マルガリーダは列聖調査に値する」



ドナ・マルガリーダについて語るマルチンスさん

USP法学部を卒業したマルチンスさんが1960年代、最初に法律事務所を構えたのは、東洋街のすぐ近くにあるジョン・メンデス広場だった。そこには日系人が集まるサンゴンサロ教会があり、武内

重雄神父が司る朝7時からミサに、彼も毎朝参加していた。教会内には渡辺マルガリーダが創立し、自ら長年会長を務めた聖母婦人会もある。救済会によるサンクトス強引退去者援護の話をすると、歴史に詳しいはずのマルチンスさんも知らなかった様子で、「マリオのお母さんとはたしていたんだ。彼女が、教会で顔を合わせた挨拶をする間柄だった。サンクトスの話は初めて聞いた。それはまさにブラジル近代史の一部

だと唸った。マルチンスさんは「法王の先兵」の代名詞で知られる「オプス・デイ」入信を、ブラジルで最初に公にした筋金入りのカトリック信者の一人としても有名だ。「マリオのお母さんは日系コミュニティだけでなく、ブラジル近代史にとっても重要な役割を果たしていったんだ。彼女は列福・列聖調査(Canonization)をするのに値する。喜んで協力しよう」と感慨深げに何度も頷いた。

だ。24時間以内という無謀な行政命令で、泣く泣く土地や財産をたき売り、手に持てるだけの荷物をもって列車に乗せられた。聖市に送られてくる日本移民の避難民6500人の世話をしたのも救済会だった。

1967年11月末までの25年間に、なんと延べ人数で6万1403人を救済したと「救済会の沿革とその事業」(1968年)にはある。

途中、同会は1953年5月に正式な慈善団体に改組し、ボ語名称に同大司教名をつけた。サンパウロ日伯援護協会や姉妹団体ともいえる各福祉団体が徐々に誕生する中で、その事業を高齢者福祉に絞り、移民50周年(1958年)の機に「憩の園」を設立した。

カトリック教の総本山バチカンが「聖者」と認定するための列聖申請には、大変な手間と時間がかかるといわれる。渡辺マルガリーダが創立した救済会は、困難な立場の日本移民を助け続けて72年目を迎えた。移民の苦難に寄り添いながら、手を差し伸べて来た福祉団体の先駆けだ。この列聖申請が認められたら、日本移民史がブラジル近代史にしっかりと組み込まれ、バチカンがそれを認定したことになるといえる。

だ。24時間以内という無謀な行政命令で、泣く泣く土地や財産をたき売り、手に持てるだけの荷物をもって列車に乗せられた。聖市に送られてくる日本移民の避難民6500人の世話をしたのも救済会だった。

1967年11月末までの25年間に、なんと延べ人数で6万1403人を救済したと「救済会の沿革とその事業」(1968年)にはある。

途中、同会は1953年5月に正式な慈善団体に改組し、ボ語名称に同大司教名をつけた。サンパウロ日伯援護協会や姉妹団体ともいえる各福祉団体が徐々に誕生する中で、その事業を高齢者福祉に絞り、移民50周年(1958年)の機に「憩の園」を設立した。



ドン・ジョゼ・ガスパール・デ・アフォンセッカ大司教

WWW.AYOSHII.COM.BR

IMIN 106 ANOS

106 ANOS DE IMIGRAÇÃO JAPONESA NO BRASIL

Uma homenagem da A.Yoshii Engenharia aos japoneses e brasileiros que há mais de um século escrevem uma história de integração e evolução entre os povos.

A.YOSHII
ENGENHARIA
Referência de Qualidade

有名法律家にして空手の達人

イヴェス・ガンドラ・マルチンス

今でも「ウマ・ボレガター(1インチ2.54センチ)の板一枚なら叩き割れる」。有名法律家イヴェス・ガンドラ・マルチンスさん(79、Ives Gandra da Silva Martins)は4月15日、手刀の構えをしながら低く響く声で、そう言った。南米金融界の中心であるパウリスタ通りの本裏に法律事務所はあり、入り口すぐのところには「1965年5月15日、ブラジル空手アカデミー赤嶺至冠8段から1段を授与」というブラジル空手道剛柔会の免状が飾られている。日本文化関係にゆかりがある人物としてはまったく知られておらず、驚くような言葉から取材は始まった。

知られざる日系人との絆



法律事務所イヴェス・ガンドラ・マルチンスさん

1960年、サンパウロ州立総合大学(USP)法学部を卒業した。後の25歳の時、最初はボクシングをやっていた。マルチンスさんは「変わったスポーツをやりたい」と思い立ち「柔術が空手か憐んだ」が、タバチングエラ街にあった空手アカデミーで習うことにした。当時は普及が始まったばかりだった。

「日本移民の日」を祝して

在サンパウロ日本総領事 福嶋 教輝



「日本移民の日」を迎えるに際し、ご挨拶申し上げます。日本人のブラジル移住に

が106周年を迎えたことを、皆様方と共に喜び、心より祝意を表します。そして、祖国日本を離れブラジルに移住し、幾多の苦難を乗り越えた末に今日160万人とも言われる日系社会の繁栄へと繋がる道を切り開いてこられた先人の方々に深い敬意を表すると共に、ブラジルの大地に眠

る多くの開拓先亡者の方々に、衷心より哀悼の意を表します。着任以来、サンパウロ州を始め、マツト・グロソ州、南マツト・グロソ州の各移住地を訪問させて頂きました。それぞれの移住地では、言葉では言い尽せない苦闘の歴史がそれぞれに語り継がれており、その声を直接伺ったことは、私の貴重な財産となっています。

改めて106年という歴史の流れの中で連続して来たる日系社会の歴史を、感慨を持って受け止めることができま

た。このように新天地ブラジルで一世にわたる年月を超えてきた先人の遺徳を受け継ぎ、成功への地まぬ強い希望と情熱を持った皆様方に改めて敬意を表します。さらには、どの地域におかれても、日本文化の伝承及び日系子弟への熱心な教育に取り組まれている姿に感動いたしました。これからの世代を担う子供たちが、日系人という誇りを持って教育を受け、日伯両国の社会で大いに活躍をされることを願っています。

このように日系人のお皆様はブラジル社会にお

106年の歴史を通じ、著実にこのような立派な

なる活躍を願い、皆様と

「あの頃、誰よりも高く飛んだよ」というマルチンスさん(雑誌MASTER第3号、12頁、Biano Editora)



赤嶺先生を囲んで中央奥が若き日のマルチンスさん(雑誌MASTER第3号、12頁、Biano Editora)

テレビ局から頻りに呼ばれては、番組の中で形や組手のほか木木、瓦やレンガを割って見せるなど、模範演技をした。

保守系論客の輝かしい経歴

著作140冊、SPFC評議員会長

「ドトルール・イヴェ」といえば、弁護士にあっては、彼が空手使いであること、党の仲間を、一緒にいることで安心感を覚えた(雑誌MASTER第3号、12頁)とある。数々の有名大学の名誉教授にも就任し、左派政党から暴力的な迫害を受ける可能性

あつたが、彼が空手使いであること、党の仲間を、一緒にいることで安心感を覚えた(雑誌MASTER第3号、12頁)とある。数々の有名大学の名誉教授にも就任し、左派政党から暴力的な迫害を受ける可能性



1965年頃に空手をやっていた頃の写真。すでに黒帯(雑誌MASTER第3号)

「赤嶺先生は1950年代の初めに渡伯した。太平洋戦争で日本軍兵士として戦ったので、ブラジルにも米軍の追手が来るとはなかった。有名空手教師になった。1965年頃に赤嶺師範がアカデミーを辞めたのを受け、自分も身を引いた。同師範の流れは小坪剛伯錬士師範が継いだ。今でも空手の訓練を続けているよ」というマルチンスさんは、現在その流派の「名誉三段指導員」の称号を与えられている。

もっとブラジルを知るために

高野書店

Livraria Takano

Rua Conselheiro Furtado, 759 - Liberdade - SP
Tel: (11) 3209-3313 / Fax: (11) 3341-7844
e-mail: takanoshoten@nethall.com.br

YANMAR

YANMAR SOUTH AMERICA
INDÚSTRIA DE MÁQUINAS LTDA.

北原健二
www.yanmar.com.br

祝 日本移民106周年

くつろぎの時間を
あなたとともに

SUNTORY

Plum Dew
Suntory Whisky

www.suntorybrasil.com.br

祝 ブラジル日本移民106周年

Fábrica - Embu/SP Escritório e Fábrica - Cotia/SP

Kanaflex

SUA INDÚSTRIA DE PLÁSTICOS

Rodovia Raposo Tavares, s/n - km 22,5 - Conj. 14 F - Andar Térreo
The Square Open Mall - Granja Vianna - Cotia/SP - 06709-015
(11) 3779-1670 www.kanaflex.com.br
Empresa Certificada ISO 9001

祝 ブラジル日本移民106周年

106º Aniversário de Imigração Japonesa no Brasil

Shoyu Hatenkoo. Realça o sabor e a beleza de cada receita.

MARUITI

NOVO TELEFONE
(11) 5079-9533
Fax: (11) 2276.9063

E-mail: maruiti@maruiti.com.br
www.maruiti.com.br

祝 移民106年祭

KIDB TextilNova

Nova Razão Social: TextilNova Fiação Ltda.

Matriz Comercial
R. Joaquim Pedro Ribeiro, 100 Av. São João, 570, Sala 32
Guaxupé - MG São José dos Campos - SP
CEP 37800-000 CEP 12242-840
Tel.: (35) 3651-5921 Tel.: (12) 3932-1122
kdb@kdb.com.br www.kdb.com.br

MÁQUINAS PARA PASTÉIS

TOSHIRO

Máquinas Toshiro

Para maiores informações. Ligue!

TEL: (11) 2919-2952

Indústria e Comércio de Máquinas Toshiro Ltda.
R. Sargento Hermínio Aurélio Sampaio, 107
Sapopemba - São Paulo - S.P. CEP: 03977-220
www.toshiro.com.br